

第 1 回全員協議会会議記録

開 閉 会 日 時	令和 4 年 5 月 6 日（金曜）		午後 1 時 3 0 分 開会
	休 憩 14:17 -15:05		
会議場所	役場 3 階第一委員会室<オンライン出席者 (O) >		
出席議員 氏 名	議 長 早苗 豊	議 員 鈴木 健充	議 員 中田智恵子
	議 員 常通 直人	議 員 中村 和宏	議 員 黒田 栄継
	議 員 西尾一則 (O)	議 員 立川美穂 (O)	
	議 員 柴田正博 (O)	議 員 梶澤 幸治	
	議 員 広瀬重雄 (O)	議 員 渡辺洋一郎	
	議 員 正村紀美子	議 員 堀切 忠 (O)	
欠席議員 氏 名	議 員 寺町 平一		
	議 員 橋本 和仁		
説明等に 出席した 者の氏名			
事務局職員	事務局長 安田敦史	総務係長 佐藤史彦	総務係主査 上田瑞紀
『会議に付した事件と会議結果など』			
1 開 会			
議長が開会を告げ、当協議会はオンライン会議（芽室町議会会議条例等運用規則第 3 3 条の 2）である旨を説明し、議員 5 名のオンライン出席を報告した後、寺町議員及び橋本議員の欠席を報告し、事務局が日程を説明し協議する。			
2 議 件			
(1) 協議事項			
	ア 令和 3 年度議会報告と町民との意見交換会総括報告書について		資料 1
	イ 令和 3 年度議会白書（概要版）について		資料 2
	ウ 令和 4 年度芽室町議会議員研修計画について		資料 3
	エ 議員定数と報酬のあり方について		資料 4
3 その他			
2 議 件 (1) 協議事項			
	ア 令和 3 年度議会報告と町民との意見交換会総括報告書について		資料 1
	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局長：議会運営委員会及び両常任委員会において協議を重ね、総括報告書の体裁を今年度から一部改正した。実際のやり取りのみの記載ではなく、総括や要旨にまとめ直すなど、意見交換会の結果を今後の取組みにつなげていくための記載を一部加えた体裁としたことを申し添える。 ・議長：質疑はあるか。 		
	(質疑なし)		

- ・議長：意見はないか？
- ・（意見なし）
- ・議長：これをもって報告書の整理を完了とする。この後、6月定例会議（初日）で報告し、各団体・学校に報告書を送付することとしたい。

イ 令和3年度議会白書（概要版）について 資料2

- ・事務局長：先月（4月）末に確定したデータの反映と、今後、確認・整理すべき事項など未定稿を含む体裁となっている。例年同様に数値等の確定後に公表したい。
- ・議長：質疑はあるか。
（質疑なし）
- ・議長：意見はあるか。
- ・梶澤議員：最新版の写真で表紙を編集していただきたい。
- ・議長：可能な範囲で対応する。
- ・議長：「ア」と同様に、白書の整理を完了する。なお、4月末日で確定したデータ（数値、実績等）の記載後に完成となり、例年通り6月発行に向けて事務作業を進めることとする。

ウ 令和4年度芽室町議会議員研修計画について 資料3-1.3-2

- ・事務局長：コロナの影響もあり、一部日程が未確定かつ流動的な部分もあるが、先の議運（3月15日開催：第30回会議）において、今年度は6回の研修を計画した。5月以降毎月となることも想定されるため、日程等確定の都度、事前に情報共有できるよう努めていく。なお、資料3-2のとおり、早速2週間後には町と共催で議場を会場に開催を予定している研修を控えているので承知置きいただきたい。
- ・議長：補足説明する。十勝管内の議長会主催の研修会は、今年度は管内全体を対象とした研修会は実施しないこととなった。その代替案としてはブロック別開催の案が出されたが、現時点で未定であり、確定後に情報共有する。
- ・議長：質疑はないか？
- ・立川議員：6月の研修について伺う。議会費（公費）執行による研修であり、町民に広く呼びかける手法と解して良いか？
- ・中村委員：議運として、詳細まで協議が詰まっていない。
- ・立川議員：議会費を執行するのであれば、町民に公開するのが前提ではないか？
- ・中村委員：御意見を踏まえて議運内で検討していきたい。
- ・立川議員：町民に広く呼びかけるのは公費執行の研修に際する前提条件であり、至って当然のことではないか？
- ・議長：研修については、それぞれに要綱を整理し実施している。要綱に基づいた研修を前提にする。
- ・広瀬議員：議場と傍聴ラウンジの座席の指定は？密になることを危惧する。
- ・事務局長：出席者を確定した後、配置を決定したい。
- ・広瀬議員：コロナ対策として、ここに至る経過は？
- ・事務局長：当初は、大規模の会場を念頭に置いたが、講師の日程確定後に（大規模

会場の予約) 調整した結果、すでに予約が入っており議場を会場に設定した。また、研修会の参加対象は町民を含みつつも、今後の講師との打ち合わせにおいて、上限数の確定等を調整中であり、併せて、感染症対策も重視しながら研修の詳細を詰めていきたい。

- ・ 広瀬議員：全体計画に及ぶ意見を申し上げる。コロナ禍に対する研修のあり方や開催時期については、それぞれのケースに応じて熟考すべきと考える。
- ・ 議長：意見を踏まえて、研修の実施方法は都度協議・検討する。
- ・ 梶澤議員：7月の全道議長会研修（7月6日）と北大公共政策大学院（7月7日）との研修は「セット」で開催してきた経過があるが、今年度の考え方は？
- ・ 議長：今年度は、別メニューとして実施したいと考えている。仮に全道議長会主催の研修が中止となったとしても、北大公共政策大学院との研修は実施したい。ただし、日程は再考すべき可能性はある。
- ・ 梶澤議員：開催会場（札幌・芽室）の選定も検討の余地はあるのか？
- ・ 中村議員：御意見を踏まえて検討していく。
- ・ 他にないか。

(なし)

- ・ 議長：研修概要として決定する。未確定要素を含む研修については、確定の都度、情報共有し実施したい。各研修の参加について御理解を求める。

エ 議員定数と報酬のあり方について 資料 4-1.4-2.4-3

- ・ 事務局長：本日から報酬と手当について具体的な議論に入る。この後、分科会に移るが、本日、議論をいただく資料は3種類（資料 4-1.4-2.4-3）。各資料について、議運のメンバーの進行に基づき、それぞれ確認と協議をいただきたい。
- ・ 議長：本日の協議事項について、意見・質疑はないか？
- ・ 立川議員：資料について伺う。スケジュールの資料に「町民との意見交換会」が計画されていない。これまでも住民参加の必要性を強く主張してきたが、議運内での議論の経過はいかがか？
- ・ 事務局長：コロナの影響を鑑みると、多数の参加を促す場面設定は見合わせた。そのため、人数に限りはあるが、凝縮した議論ができるようモニター会議を活用し、さらに、諮問会議で深掘りした議論を重ねてきているので、これを町民の意見と捉え、今回は「町民との意見交換会」を開催しないことに議運で決定した。
- ・ 立川議員：ひじょうに残念な結果である。議会活動の中でも重要な報酬の検討については、住民参加が必須と考える。
- ・ 正村議員：今回の議論にあたり、町民参加の手法は多岐にわたると議運では捉えた。コロナの影響は度外視できない条件であり、多くの人数を募る行為は差し控えることとした。そのため、PTAとの意見交換会での検討状況の報告や、モニター会議での議論、さらに議会だよりでの広報等手法を組み合わせ、住民参加の機能を反映させてきた思いである。
- ・ 立川議員：議会だよりが読まれていない現状を考えると、研修などで「議員定数と報酬のあり方」をテーマにしたワークショップも検討していただきたい。

- ・中村議員：議会だよりを有効な広報媒体として理解いただきたい。
- ・議 長：ここで本休憩とする。分科会（ブレイクアウト・ルーム）を開催していただきたい。
- ・議 長：休憩を取り消し、会議を再開する。各グループから協議の概略を報告いただきたい。
- ・常通議員：「グループ1」の報告をする。資料4-2（「常任委員数他4項目」の検討結果）に係る政務活動費の検討について、「令和4年度から下準備は開始する。」の解釈について意見があった。具体的な取組事項を整理してはとの意見だった。なお、資料4-1（「議員報酬の検討視点」に係る留意点）については、「1：議員報酬は時間給でも給与でもない」と「2：活動量によって変化する可能性を前提とする」は適。「3：夜間議会の可能性」については不適とした。
- ・黒田議員：「グループ2」の報告をする。資料4-2及び4-3は了。また、今回の議論については、議会だよりで特集を組むなど住民周知は可能な限り努めていくことで共通認識を図った。資料4-1は、現行制度（報酬の根拠）の経過を確認し、今後の議論の前提を共有した。
- ・鈴木議員：「グループ3」の報告をする。資料4-3のスケジュールは9月目標としながらも議論の進捗状況によっては12月も視野に入れていくことで了とした。資料4-2は了。資料4-1は、報酬の増減検討の前に、適正な活動量の見極めの根拠をどこにするのか、また、町民への説明の手法をどうするのかについても、しっかり議論すべきとのまとめになった。
- ・議 長：次回議運において、今回の協議結果を踏まえて、改めて議論を深めていただき、その結果を次回の全員協議会で共有する流れとする。

3 その他

- ・議 長：「その他」で事務局からないか？
- ・(なし)
- ・議 長：各議員からないか？
- ・(なし)
- ・議 長：以上で会議を終了する。

傍聴者数	一般者	0名	報道関係者	1名	合計	0名
------	-----	----	-------	----	----	----

記載のとおり報告する。

令和4年5月6日

芽室町議会議長 早 苗 豊

